

まとめと次のステップ

須藤功平

株式会社クリアコード

実践リーダーブルコード

2015-03-06

講座の目的

- ✓ 自分の開発チームに
- ✓ リーダブルなコードが
当たり前な文化の作り方を
- ✓ 持ち帰る

文化の作り方の流れ (1)

- ✓ リーダブルコードの必要性をチームで共有
 - ✓ 改良・修正が多いなら必要
 - ✓ 継続的に改良・修正したいか
 - ✓ チームとして改良・修正したいか

文化の作り方の流れ (2)

- ✓ チームでのリーダブルの基準を育てる
 - ✓ 「読む人」が読みやすいならリーダブル
 - ✓ 「読む人」が変われば基準が変わる
 - ✓ →読む人が違うのでチーム毎に違う

文化の作り方の流れ (3)

- ✓ 基準の育て方
 - ✓ 各メンバーがコードを読む
 - ✓ リーダブルだと思ったコードを共有
 - ✓ チームとしてリーダブルかを判断
 - ✓ →チームの基準に加わる

基準の育て方 (1)

- ✓ コードを読む文化を作る
 - ✓ まず自分が読み始める
 - ✓ リーダブルなコードを探す
 - ✓ 見つけたリーダブルなコードを他のメンバーに伝える (後述)
- ✓ →コードが読まれるという自覚がチームに浸透

今日やったのはここまで

基準の育て方 (2)

次のステップ

- ✓ コミットを読む
 - ✓ コード全体ではなく差分を読む
 - ✓ 設計の仕方ではなく開発の仕方が見える
 - ✓ リーダブルなコードを見つけるには適切

基準の育て方 (3)

- ✓ コミットの読み方
 - ✓ pull型よりpush型がよい
(Git用のオススメツールあり: git-utils)
 - ✓ 読むコストが下がる
 - ✓ 流し読む (負担が多いと続かない)
 - ✓ 問題探し視点では読まない

基準の育て方 (4)

- ✓ リーダブルコードの伝え方
 - ✓ Wikiに書く (全チームで有効)
 - ✓ コードで伝える (上級チーム向け)

基準の育て方 (5)

- ✓ Wikiに書いて伝える
 - ✓ Wikiもdiffを通知できるようにする
(RedmineとGitHub用はツールあり)
 - ✓ 後で参照できるため
 - ✓ 更新もできるため
(リーダブルコードの基準は変わることもある！)

基準の育て方 (6)

- ✓ コードで伝える
 - ✓ 上級チーム向け
(チームにコードを読む文化が根付いた後)
 - ✓ リーダブルコードを真似てコミット
 - ✓ →他の人：「またこの書き方だ」
 - ✓ →真似する人増加→チームが合意
 - ✓ →チームが合意→Wikiにまとめる

おまけ：副次効果

- ✓ コードを読む文化
 - ✓ 新しい人の受け入れにも有用
 - ✓ 自分たちが大事にしていることを開発を通じて徐々に伝えていける

来週からやること

- ✓ リーダブルコードの必要性をチームで確認
- ✓ →この講座をチームでもやる
 - ✓ 資料はすべて再利用可能
- ✓ →自分がコードを読み始める
 - ✓ 自分が変更するコードの周辺からリーダブルコードを探す

サポート (1)

- ✓ 今日の資料はすべて再利用可能
 - ✓ チーム内で同じ講座をできる
- ✓ 無料のフォローアップ面談
 - ✓ チームで実践→悩み
↑の相談に乗る
 - ✓ 受講後3ヶ月以内、1回限り

サポート (2)

- ✓ コミット読みの支援
 - ✓ OSSとしてツールを公開
 - ✓ コミット毎にメールで通知 (diff入り)
 - ✓ Git、Subversionで使える
 - ✓ GitHub、GitLab連携もできる

お知らせ (1)

- ✓ WEB+DB PRESS Vol.86に寄稿
- ✓ よいコード・よいコミットについて
- ✓ 2015-4-24発売予定
- ✓ <http://www.amazon.co.jp/dp/4774172480>

おしらせ (2)

コードリーダー育成支援

<http://www.clear-code.com/services/code-reader/>

リーダブルなコードが
当たり前な文化づくりを支援

トラブルシューティング

1人で始めたまま
なかなかチームに広げられない

- ✓ 実績を元に
リーダーや〇〇長に協力依頼
- ✓ 実績例：リーダブル基準集
- ✓ 前述の支援サービスを使う
- ✓ →組織として本気で取り組むぞ！
というメッセージになる

クリアコード

- ✓ クリアなコードが大切
 - ✓ クリア == clear == 意図が明確
 - ✓ クリアなコードはリーダブルコード

みなさんのチームが
リーダブルコードが当たり前な
チームになることを応援します！